平成24年度採択プログラム 中間評価調書

(中間評価後修正変更版)

博士課程教育リーディングプログラム プログラムの概要 [公表。ただし、項目13については非公表]

		, , , , , , ,			「五弦。たたし、残日「いについては非五弦」					
	機関名	東京大学		整理番号	K01					
1.	全体責任者		ムの場合は、全ての構成大学 学長名に下線を引いてください		りまとめを行っている大学(連合大学院によるもの					
		(ふりがな) ごのかみ まこと								
	(学長)	氏名·職名	五神 真(東京大学紀	総長)						
2.	プログラム責任者	(ふりがな)	いしかわ まさとし							
		氏名·職名	石川 正俊(東京大学 (創造情報学専攻)(^五							
3.	プログラム	(ふりがな)	くによし やすお							
j.	ーディネーター	氏名·職名	國吉 康夫(東京大学	大学院情報理工学	系研究科教授·知能機械情報学専攻)					
4.	類型	K<複合領域型	!(情報)>							
	プログラム名称	ソーシャルICT グ	ローバル・クリエイティ	ブリーダー育成プロケ	グラム					
5.	英語名称	Graduate Program	n for Social ICT Global	Creative Leaders						
	副題									
6.	授与する博士 学位分野・名称	博士(情報理工学),		(社会情報学), 博士(工	学, 教育学, 経済学, 法学 学), 博士(医学), 博士(保健学), 博士(農					
7.	主要分科	(① 情報学機械工学,都市計画) (② 電気電子エ •建築計画, 看護学, 農業	, ,	テム科学) ※複合領域型は太枠に主要な分科を記入 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
		(1)) (②) (③)※ オンリーワン型は太枠に主要な細目を記入					
8.	主要細目	理・知能ロボティクス 生命情報学, 社会シ	, 感性情報学・ソフトコンピュー	ティング,図書館情報学・ノ ,公衆衛生学・健康科学	学・データベース, 知能情報学, 知覚情報処 人文社会情報学, 認知科学, 統計科学, 生体 や, 地域・老年看護学, 農業土木学・農村計画					
9.	専攻等名				<u>- ム情報学専攻、電子情報学専攻、知能機械</u>					
	こる専攻等がある場 下線を引いてくださ	攻)、医学系研究科(社会医学専攻、健康科学 ?科(総合教育科学専攻)	•看護学専攻、公共健康	学系研究科(都市工学専攻、電気系工学専 医学専攻)、農学生命科学研究科(農学国 メント専攻)、公共政策大学院、法学政治学					
10.	共同教育課程		合の共同実施機関名							
11.	連合大学院とし	て参画している場	合の共同実施機関名	3						
12.	12. 連携先機関名(他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名)									
IS ソ M	日本経済団体連合会、日本情報システム・ユーザー協会、日本規格協会、科学技術政策研究所、統計数理研究所、国際協力機構、ISO、NPO法人EduceTechnologies、東京海上日動火災保険、日本IBM、Google、エーザイ、Microsoft、Infosys、NTTデータ、新日鉄住金ソリューションズ、e-Corporation.JP、ETH、Manchester Univ.、UC Berkeley、Technische Universität München、Université Pierre & Marie Curie、Chulalongkorn University、内閣官房情報通信技術担当室、経済産業省商務情報政策局 情報政策課情報プロジェクト室、総務省総合通信基盤局電波部									

										LZ	〉表」
14. プロ	ログラム担当者	番の構成 一	計	103	名						
外国人	の人数	13	([1	2.6 %]	女性の人数		11	. [10.7	%]
プログラム	ュ実施大学に属する者	の割合	68.9	%]		-					
プログラム	実施大学に属する者				71 人	プログラム実力	施大学以外に	属する者		32	人
そ0	のうち、他大学等を	と経験したことの	のある者		58 人	そのうち	、大学等以外	トに属する者	当	30	人
15. プロ	ログラム担当者	Í				•					
	氏名	フリガナ	年齢	所属(研	究科•專	攻等)•職名	現在の専門 学位	(平成	役割分担 28年度におけ		
(プログラム)	責任者)										
石川 II 替)	E俊(H28.4.1交	イシカワマサトシ		大学院情: 究科長	報理工学系	系研究科•研	システム情 報学 工学博士	プログラム슄	全体の統括		
(プログラム:	コーディネーター)										
國吉	東夫	クニヨシヤスオ			報理工学系 情報学専攻		ム情報学	率・調整全	推進に関わる 般、運営協詞 企画戦略室長	議会議長	、推
萩谷	昌己	ハギヤマサミ		コンピュ [・] 同研究科		厚攻・教授∕ ∠ICT研究セ	コンピュー タ科学 理学博士		ィネーター ーター補佐)	(プログ	ラム
坂井 修 替)	§一(H28.4.1交	サカイシュウイチ			報理工学系 学専攻・教		安全・安心情 報システム 学 工学博士		、形成委員長		
今井 氵	告	イマイヒロシ			報理工学系 ータ科学専	《研究科 『攻・教授	アルゴリズ ム論 工学博士	キャリアパ	ス形成委員		
小林 [直樹	コバヤシナオキ			報理工学系 ータ科学専	、研究科 『攻・教授	ソフトウェ ア検証 博士 (理 学)	運営協議会	委員		
須田	礼仁	スダレイジ			報理工学系 ータ科学専	系研究科 厚攻・教授	並列高性能	入試・学位	審査委員長		
中川 衤	俗志	ナカガワヒロシ		情報基盤·	センター・	教授	統計的機械 学習 自然言語処 理 工学博士	連携推進委	員		
山西(建司	ヤマニシケンジ			報理工学系 学専攻・教		機械学習、 データマイ	キャリアパ	ス形成委員		
松尾	宇泰	マツオタカヤス			報理工学系 学専攻・教		数値解析学	学生評価委	員長		
中村	宏	ナカムラヒロシ			報理工学系 情報学専攻		コンピュー タシステム アーキテク チャ エ学博士	キャリアパ	ス形成委員		
	(:	機関名:東京大学	始 新刑 ·	複合領域型	(情報) プロ	がうん名称・ソーシ	・ セルICT グロー	-バル・クリエイ	ティブリーダー	ちぱプロク	<i>i= 1.</i>)

中間評価時(H27.4.1現在)からの修正

5. プログラム担当者一覧(続き)								
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門 学位	役割分担 (平成28年度における役割)			
原 辰次	ハラシンジ		大学院情報理工学系研究科 システム情報学専攻・教授	システム制 御工学 工学博士	プロジェクトインキュベーション機 構員			
奈良 高明	ナラタカアキ		大学院情報理工学系研究科 システム情報学専攻・准教授	計測工学、 数理工学 博士(工 学)	連携推進委員、学生評価委員			
相澤 清晴	アイザワキョハル		大学院情報理工学系研究科電子 情報学専攻・教授	映像・メ ディア処理 エ学博士	プロジェクトインキュベーション機 構員、学生評価委員			
浅見 徹	アサミトオル		大学院情報理工学系研究科 電子情報学専攻·教授	情報通信工 学 情報理工学 博士	プロジェクトインキュベーション機 構長			
伊庭 斉志	イバヒトシ		大学院情報理工学系研究科 電子情報学専攻·教授	進化計算 工学博士	学生評価委員			
苗村 健	ナエムラタケシ		大学院情報学環·学際情報学府 学際情報学専攻·教授	実世界指向 メディアエ 学 エ学博士	グローバルデザインWS企画推進機構 長			
下山 勲	シモヤマイサオ		大学院情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻・教授	MEMS ロボ ティクス 工学博士	学生評価委員			
中村 仁彦	ナカムラヨシヒコ		大学院情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻・教授	ロボティク ス 工学博士	運営協議会委員			
廣瀬 通孝	ヒロセミチタカ		大学院情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻・教授	ヒューマン インタ フェース 工学博士	キャリアパス形成委員			
稲葉 雅幸	イナバマサユキ		大学院情報理工学系研究科 創造情報学専攻·教授	ロボティク ス 工学博士	プロジェクトインキュベーション機 構員			
江崎浩	エサキヒロシ		大学院情報理工学系研究科 創造情報学専攻·教授	インター ネット 工学博士	運営協議会委員、プロジェクトイン キュベーション機構員			
千葉 滋	チバシゲル		大学院情報理工学系研究科 創造情報学専攻·教授	ソフトウェ ア 博士 (理 学)	学生評価委員、キャリアパス形成委 員			
平木 敬	ヒラキケイ		大学院情報理工学系研究科 創造情報学専攻·教授	並列計算 理学博士	プロジェクトインキュベーション機 構員			
中山 英樹	ナカヤマヒデキ		大学院情報理工学系研究科 創造情報学専攻·講師	コンピュー タビジョン 博士 (情報 理工学)	カリキュラム委員			
,		4 * ***********************************	<u> </u>		I -バル・クリエイティブリーダー育成プログラム)			

中間評価時(H27.4.1現在)からの修正

5. プログラム担当者一覧(続き)								
	1			現在の専門	役割分担			
氏名	フリカナ	年齡	所属(研究科・専攻等)・職名	学位	(平成28年度における役割)			
幸	アイハラカズユキ		生産技術研究所・教授	複雑システ ム学 工学博士	連携推進委員			
優	キツレガワマサル		生産技術研究所・教授/国立情 報学研究所長・教授	データ工学工学博士	評価・計画WG委員			
±	イクタコウジ		先端科学技術研究センター・教 授	医用マイク ロマシン エ学博士	運営協議会委員			
:	スドウオサム		大学院情報学環·学際情報学府 学際情報学専攻·教授	社会情報 学、情報経 済論 経済学博士	プロジェクトインキュベーション機 構員			
!	サカムラケン		大学院情報学環·学際情報学府 学際情報学専攻·教授	コンピュー タアーキテ クチャ 工学博士	キャリアパス形成委員			
幸	タナカヒデユキ		大学院情報学環·学際情報学府 学際情報学専攻·教授	社会情報学 M. A. (IR)	学生指導委員長			
明	ハシモヒデアキ		大学院情報学環・学際情報学府 学際情報学専攻・教授	社会心理学 修士(社会 学)	カリキュラム委員、キャリアパス形 成委員			
<u> </u>	レキモトジュンイチ		大学院情報学環·学際情報学府 学際情報学専攻·教授	Human Computer Interaction 博士(理学)	グローバルデザインWS企画推進機構 員			
ı	ミズコシシン		大学院情報学環・学際情報学府 学際情報学専攻・教授	メディア論 修士(社会 学)	グローバルデザインWS企画推進機構 員			
宏	ナカオアキヒロ		大学院情報学環・学際情報学府 学際情報学専攻・教授		プロジェクトインキュベーション機 構員			
Ŋ	オオシママリ		生産技術研究所・教授	バイオ・マ イクロ流体 エ学 エ学博士	キャリアパス形成委員			
晃	イイヅカトシアキ		公共政策教育部 公共政策学専 攻·教授	医療経済学 産業組織論 Ph. D.	キャリアパス形成委員			
:	オクムラヒロカズ		公共政策学教育部 公共政策学 専攻・客員教授	行政近代化 とICT 教養学士	運営協議会委員、企画戦略室員			
	氏幸 優 士 幸 明 一 宏 り 晃	氏名 フリガナ マイハラカズユキ 優 キッレガワマサル イクタコウジ スドウオサム サカムラケン 幸 タナカヒデユキ ハシモヒデアキ ミズコシシン 宏 ナカオアキヒロ オオシママリ 晃	氏名 フリガナ 年齢 アイハラカズユキ 優 キッレガワマサル イクタコウジ スドウオサム サカムラケン 幸 タナカヒデユキ ハシモヒデアキ コシンン 宏 ナカオアキヒロ オオシママリ 晃 イイヅカトシアキ	氏名 フリガナ 年齢 所属(研究科・専攻等)・職名 幸 フィハラカズユキ 生産技術研究所・教授 虚 キッレガワマサル 生産技術研究所・教授/国立情報学研究所長・教授 士 イクタコウジ 先端科学技術研究センター・教授 大学院情報学環・学際情報学府学院情報学専攻・教授 大学院情報学専攻・教授 サカムラケン 大学院情報学環・学際情報学府学院情報学の教授 サカレデユキ 大学院情報学専攻・教授 サントモニテアキ 大学院情報学環・学際情報学府学院情報学府学院情報学時で際情報学専攻・教授 エズコシシン 大学院情報学専攻・教授 大学院情報学専攻・教授 大学院情報学府学際情報学府学際情報学府学際情報学府学際情報学府学院情報学育文・教授 生産技術研究所・教授 生産技術研究所・教授 イイヅカトシアキ 公共政策教育部公共政策学専りな・教授 大株政策学教育部公共政策学専りな・教授 公共政策学教育部公共政策学事のより、教授	氏名 フリガナ 年齢 所属(研究科・専攻等)・職名 現在の専門学位 幸 7イハラカズユキ 生産技術研究所・教授 複雑システン学博士 佐藤芸術研究所・教授 国立情 データエ学工学博士 生産技術研究所・教授 国本のイクロマシン工学博士 大学院情報学専攻・教授 社会情報学院育報学府学院情報学商文・教授等専攻・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授等事故・教授をは、社会の即は行っています。 大学院情報学専攻・教授を開く着報学の関係を主任主会の関係を主任主会の関係を主任主会の関係を主任主会の関係を主任主会の関係を主任主会を対しています。教授を持ちた。 大学院情報学専攻・教授を持て、社会学・デートの関係を主任主会を対して、対力オアキヒロ学院情報学専攻・教授が開く、教授を持ちた。 大学院情報学専攻・教授を持ちた。 大学院情報学専攻・教授を持ちた。 大学院情報学専攻・教授を持ちた。 大学院情報学専攻・教授を持ちた。 大学院情報学専攻・教授を主義と関係を主要を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対して、対して、対して、対して、対して、対力の定案を対して、対して、対して、対力の定要を対して、対して、対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対して、対しに対して、として、対力の表表を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対力の定案を対して、対して、対力の定案を対し、対力の定案を対し、対力の定案を対して、対力の定案を			

15 -	プログラム担当者	子一覧(続き)	1			[公表]
0. ,		I I		Τ	現在の専	须孛(/\+□
	氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	門	役割分担 (平成28年度における役割)
金井	利之	カナイトシユキ		大学院法学政治学研究科 総合法政専攻・教授	自治体行政 学 法学士	学生評価委員、カリキュラム委員
藤本	隆宏	フジモトタカヒロ		大学院経済学研究科・マネジメ ント専攻・教授	技術・生産 管理 D. B. A	キャリアパス形成委員
新宅	純二郎	シンタクジュンジロウ		大学院経済学研究科・マネジメ ント専攻・教授	経営戦略 経済学博士	運営協議会委員、プロジェクトイン キュベーション機構員、学生評価委 員
相田	仁	アイダヒトシ		大学院工学系研究科・電気系工 学専攻・教授	情報通信工 学 工学博士	キャリアパス形成委員
	信明 4.1追加)	ミネマツノブアキ		大学院工学系研究科・電気系工 学専攻・教授	信号処理工 学 工学博士	運営協議会委員
浅見	泰司	アサミヤスシ		大学院工学系研究科 都市工学専攻·教授	都市計画、 都市住宅 学、空間情 報科学、 Ph. D.	運営協議会委員、グローバルデザインWS企画推進機構員
小林	和彦	コバヤシカズヒコ		大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻・教授	農業気象学農学博士	学生評価委員
溝口	勝	ミゾグチマサル		大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻・教授	国際情報農 学 農学博士	運営協議会委員、 プロジェクトインキュベーション機 構員、グローバルデザインWS企画推 進機構員
二宮	正士	ニノミヤセイシ		大学院農学生命科学研究科 附属生態調和農学機構·教授	フィールド インフォマ ティクス 農学博士	キャリアパス形成委員
下山	晴彦	シモヤマハルヒコ		大学院教育学研究科 総合教育科学専攻·教授	臨床心理学 博士(教育 学)	運営協議会委員、グローバルデザインWS企画推進機構員
石丸	径一郎	イシマルケイイチロウ		大学院教育学研究科 総合教育科学専攻·講師	臨床心理学 博士(教育 学)	キャリアパス形成委員、カリキュラ ム委員
真田	弘美	サナダヒロミ		大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻・教授	看護学 博士(医 学)	キャリアパス形成委員
山本	則子	ヤマモトノリコ		大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻・教授	成人・緩和ケ ア 看護学 Ph. D. (nursi	学生評価委員
松山 (H28.	裕 4.1追加)	マツヤマユタカ		大学院医学系研究科 公共健康医学専攻·教授	生物統計学博士(保健学)	運営協議会委員
			4 N.T. T. I	塩の銀は刑(情報) プログラルを称い↓━シ。	/*-	*

15. プログラム担当	省一覧(続き))			
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専 門	役割分担 (平成28年度における役割)
大江 和彦	オオエカズヒコ		大学院医学系研究科・社会医学 専攻・教授	医療情報学 医学博士	学生評価委員
小林 廉毅	コバヤシヤスキ		大学院医学系研究科・公共健康 医学専攻・教授 (兼担) 社会医 学専攻・教授	公衆衛生学 医療政策 医学博士	キャリアパス形成委員
篠田 裕之	シノダヒロユキ		大学院新領域創成科学研究科複 雑理工学専攻·教授	計測工学 博士(工 学)	学生評価委員
國廣 昇	クニヒロノボル		大学院新領域創成科学研究科 複雑理工学専攻·准教授	暗号理論 情報セキュ リティ 博士 (エ 学)	連携推進委員
橋田 浩一	ハシダコウイチ		大学院情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター・教授 /副センター長		カリキュラム委員、プロジェクトイ ンキュベーション機構員
大西 立顕	オオニシタカアキ		大学院情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター・准教授	数理工学 博士(科 学)	カリキュラム委員
中田 登志之	ナカタトシユキ		大学院情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター・教授	システムICT	企画戦略室員、プロジェクトイン キュベーション機構・副機構長、 キャリアパス形成委員
谷川 智洋 (H28. 4. 1追加)	タニカワトモヒロ		大学院情報理工学系研究科知能 機械情報学専攻·特任准教授	複合現実 感・ヒイン ターフェー は士(エ 学)	プログラムコーディネーター補佐、 学生評価委員、学生指導委員
坂本 大介 (H28. 4. 1追加)	サカモトダイスケ		大学院情報理工学系研究科コン ピュータ科学専攻・特任講師	ヒューマン コンピュタラ クション 博士(シス テム情報科 学)	学生指導委員、学生評価委員
森野 佳生 (H28.4.1追加)	モリノカイ		大学院情報理工学系研究科数理 情報学専攻・特任助教	数理工学 博士(情報 理工学)	学生指導委員、学生評価委員

				現在の専	須宝八十			
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現任の専門	役割分担 (平成28年度における役割)			
塚田 学 (H28. 4. 1追加)	ツカダマナブ		大学院情報理工学系研究科創造 情報学専攻·特任助教	協調型高度 道路交通シ ステム(ITS) とネット ワーク視聴	学生指導委員、カリキュラム委員、 グローバルデザインWS企画推進機構			
Gharehbaghi AmirMasoud (H28.4.1追加)	ガラパギ アミル マスード		大学院工学系研究科電気工学専 攻・特任助教	サインシ組ト析べド サインシ組ト析、ルカムソアイハア コタ) は、フ解レー設 コタ)	学生指導委員、カリキュラム委員			
後藤 智香子 (H28. 4. 1追加)	ゴトウチカコ		大学院工学系研究科都市工学専 攻・特任助教	住づ テイン計士学) ま、ニデ都画() ま、ニデ都画()	学生指導委員、グローバルデザイン WS企画推進機構員			
朴 英元 (H28. 4. 1追加)	パクヨンウォン		大学院経済学研究科マネジメン ト専攻・特任准教授	情報・技術 経営戦略 博士(学 術)	共通必修講義担当			
林 直樹 (H28. 4. 1追加)	ハヤシナオキ		大学院農学生命科学研究科農学 国際専攻・特任准教授	農村計画学博士(農学)	グローバルデザインWS企画推進機構 員、 学生評価委員			
会田 大也 (H28. 4. 1追加)	アイダダイヤ		大学院情報学環·学際情報学府 学際情報学専攻·特任助教	メディト、ア アー・ジュンケー・ディア メニュエン・ディン・ディア・ディン・リング・アイ・ア・ファイ・ア・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ・ファイ	学生指導委員、グローバルデザイン WS企画推進機構員			
	W 55 5	, de= =1		(*-				

					[公表]				
15. プログラム担当者一覧(続き)									
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専 門	役割分担 (平成28年度における役割)				
菅沼 慎一郎 (H28.4.1追加)	スガヌマシンイチロウ		大学院教育学研究科総合教育科 学専攻臨床心理学コース・特任 助教	臨床心理学 博士(教育 学)	学生指導委員、学生評価委員				
竹内 由則 (H28. 4. 1追加)	タケウチヨシノリ		大学院医学系研究科公共健康医 学専攻·特任助教		学生指導委員、グローバルデザイン WS企画推進機構員				
杜 平 (H28. 4. 1追加)	デュピン		大学院情報学環·学際情報学府 学際情報学専攻·特任講師	情報学 博士(情報 学)	学生指導委員、学生評価委員				
重木 昭信	シゲキアキノブ		(株) JBISホールディングス社 代表取締役社長顧問(日本電子計算(株)社長兼務)経団連 情報通信委員会高度情報通信人材育成部会		評価・計画WG委員、キャリアパス形成委員				
秋元 一彦(H28.4.1交替)	アキモトカズヒコ		新日鉄住金ソリューションズ株式 会社 取締役 技術本部担当	技術開発マネジメントエ学修士	評価・計画WG委員長、キャリアパス形成委員				
浅川 智恵子	アサカワチエコ		日本IBM 基礎研究所 IBMフェロー	HCI (アクセシビ リティ) 博士(工学)	キャリアパス形成委員				
鈴木 久美	スズキヒサミ		Microsoft Senior Program Manager (米 国)	自然言語処 理とその応 用 博士(言語 学)	キャリアパス形成委員				
Feng Zhao	フン ツァオ		Microsoft Microsoft Research Asia Assistant Managing Director(中国)	センサ・ ネットワー ク,クラウ ド・コティ ピューティ ング Ph. D.	キャリアパス形成委員				
安藤 穣	アンドウジョウ		Infosys Limited, Marketing Manager	マーケティ ング 学士 (経済 学)	キャリアパス形成委員				

15. プログラム担当者一覧(続き)									
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専 門	役割分担 (平成28年度における役割)				
工藤 拓	クドウタク		Google Inc. ソフトウェアエンジニア	統計的自然 言語処理 博士(工 学)	キャリアパス形成委員				
長洲 毅志	ナガスタケシ		エーザイ (株) ブロダクトクリ エーション本部、ポートフォリ 才戦略推進部 顧問	分子生物学 創薬科学 薬学博士	プロジェクトインキュベーション機 構員、キャリアパス形成委員				
牧野 司	マキノツカサ		東京海上日動火災保険株式会社 IT企画部課長 兼 経営企画部参 事 東京海上研究所 主席研究員 日本情報システム・ユーザー協 会主任研究員	最新ICT動向 の 調査・研究 経済学士	評価・計画WG委員、学生評価委員、 キャリアパス形成委員				
Sophia Ananiadou	ソフィア アナニアドゥ		University of Manchester School of Computer Science Professor (英国)	自然言語処 理 テキストマ イニング Ph. D.	連携推進委員				
Bertrand Meyer	パーランド マイヤー		ETH Zürich Department of Computer Science Professor (スイス)	ソフトウェ アエ学 Ph. D.	連携推進委員				
Daniele Gerundino	ダニエル ゲルンディノ		ISO Strategic Adviser to the Secretary-General (イタリア)	標準化, イノ ベーション, サステナブ ル開発 Doctor in Physics	連携推進委員				
Kameshwar Poolla	カメッシュワル ポーラ		UC Berkeley Department of Mechanical Engineering Professor (米国)	電気工学 Ph. D.	連携推進委員				
Sandra Hirehe	サンドラ ヒルシュ		Technische Universität Mü nchen Institute of Automatic Control Engineering Professor (ドイツ)	制御工学、 ネットワー ク協調制御 DrIng.	連携推進委員				
Serge Fdida	サージ フディダ		Université Pierre & Marie Curie Computer Science Department Distinguished Professor (フランス)	ネットワー ク学 Ph. D	連携推進委員				
	(機則夕, 東方十号	乡 粨刑.	複合領域型(情報) プログラム名称:ソーシ	・ ルルICT ガロー	・ - バリ・カリェノニノブリーゲー 玄 ポプログニノ)				

[公表] 15. プログラム担当者一覧(続き)								
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専門 学位	役割分担 (平成28年度における役割)			
Somboon Sangwongwanich	ソンブーン サンウォンワニッチ		Chulalongkorn University Dept. of Electrical Engineering Assistant Professor (タイ)	電力工学/ス マートグ リッド技術 Dr. Eng	連携推進委員			
Stephen Jenner	スティーブン ジュンナー		Portfolio Solutions Co. Lt d, Director (英国)	プロジェク トポート フォリオ・ 利益管理 M. St., MBA	連携推進委員			
廉 宗淳	ヨム ジョンスン		e-Corporation. JP㈱ 代表取締役社長	電子政府・ 電子自治体 修士(国際情 報通信)	連携推進委員			
丸山 宏	マルヤマヒロシ		情報・システム研究機構 統計数理研究所・教授	計算機科学博士(工学)	カリキュラム委員、 評価・計画WG委員			
楠 正憲	クスノキマサノリ		ヤフ一株式会社/CISO Board/ 政府CIO補佐官/内閣官房 社会 保障改革担当室番号制度推進管 理補佐官	技術政策· 国際標準 化·電子行 政 学士(経済 学)	評価・計画WG委員、プロジェクトインキュベーション機構員、キャリアパス形成委員			
川島 宏一	カワシマヒロイチ		筑波大学システム情報系社会工 学域・教授 (H28.4.1)変 更)	公共イノ ベーション 社会工学博 士	連携推進委員			
松永 明	マツナガアキラ		経済産業省審議官(経済産業政 策局担当)	I 丁戦略 LL. M.	評価・計画WG委員、キャリアパス形成委員			
平本 健二	ヒラモトケンジ		内閣官房副長官補室 兼情報通信 技術担当室	電子政府 情報システ ム エ学修士	連携推進委員			
鈴木 茂樹	スズキシゲキ		総務省 情報通信国際戦略局 局長	情報通信政 策 農学士	評価・計画WG委員、キャリアパス形成委員			
(機関名·東京大学	シェン 米百 开リ・	複合領域型(情報) プログラム名称・ソーシ	ャルICT グロー	-バル・クリエイティブリーダー育成プログラム)			

5. プログラム担当者一覧(続き)								
氏名	フリガナ	年齢	所属(研究科・専攻等)・職名	現在の専 門	役割分担 (平成28年度における役割)			
高地 圭輔	タカチケイスケ		公益社団法人日本経済研究セン ター研究本部予測分析部主任研 究員	ブロードバ ンド 電子自治体 博士(経済 学)	学生評価委員			
田中 正躬	タナカマサミ		財団法人日本規格協会 特別アドバイザー	国際標準問 題 M. Phil	キャリアパス形成委員			
奥和田 久美	オクワダクミ		科学技術政策研究所 上席フェロー	科学技術政 策 科学技術予 測 工学博士	評価・計画WG委員、学生評価委員			
佐野 景子	サノケイコ		独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 人間開発部 高等教 育・社会保障グループ	社会保障 学士(外国 語学)	連携推進委員			
東川 淳紀	ヒガシカワアツノリ		株式会社NTTデータ グループ経 営企画本部 課長	組織ガバナ ンス/ITガバ ナンス 修士 (エ 学)	連携推進委員、キャリアパス形成委 員			
満塩 尚史	ミツシオヒサフミ		経済産業省 商務情報政策局情 報政策課 情報プロジェクト室 CIO補佐官	電子行政博士(物理)	評価・計画WG委員			
山野 哲也(H27.10.1追加)	ヤマノテツヤ		総務省 総合通信基盤局電波部 電波政策課 統括補佐	電波政策、 情報通信政 策 学士(理学)	連携推進委員			
山内 祐平	ヤマウチユウヘイ		特殊非営利活動法人 EduceTechnologies代表理事 /大学院情報学環・学際情報学 府・学際情報学専攻・教授	教育工学・ 学習環境デ ザイン論 博士 (人間 科学)	グローバルデザインWS企画推進機構 員、 カリキュラム委員			
	## 88 2 	4 * * * T I I	+	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- バル・クリエイティブリーダー 斉成プログラ /、)			

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

【概要】情報通信技術(ICT)が世界中の人と事物を複雑に結び、急速に変動する未経験の社会経済システムが出現する中で、次々と発生する新たな問題や可能性を捉え、人々に価値あるソリューションを創造し実現する変革が強く求められている。本プログラムでは、ビッグデータ、複雑システム、ヒューマンシステムの先端 ICT を基軸とし、複数専門分野を統合して、社会の喫緊の課題を解決し、あるいは新たな価値をもたらす知識社会経済システムを創造的にデザインし、社会イノベーションを先導するトップリーダーとチームを育成する。

修了者は企業、行政、公共機関、ベンチャー起業、NPO/NGO、研究機関等で次のような課題に取り組む:スマート社会(東北再生、インフラ、農業含む産業、流通、生活・文化、コミュニティ、医療・健康、災害・テロ耐性)、次世代行政システム(電子行政、意思決定支援、情報社会制度・政策等)、新サービス創出(ICT 高度活用での医療・健康・食・メンタルヘルスの向上、ビッグデータ・SNS・サイバーフィジカル・ロボット活用)。

〈人材像〉 以下の能力を養成:(1)情報および制度・経済の横串とグローカルな視点で現代の社会・経済システムの本質的な問題や可能性を発見する能力。(2)先端科学技術と人々にとっての価値・意味の両方を理解し、高い理想と倫理のもとに、新たな社会のビジョンと価値創造のシナリオを描く能力。(3)先端 ICT と工学、農学、医学、社会科学の高度専門力を基盤とし、新たな知識社会経済システムを創造的かつ具体的にデザインする能力。(4)それを具現化するプロジェクトを、ステークホルダーのコンセンサスを得て、世界トップレベルの専門家集団を率い、戦略的プロジェクトマネジメントのもとに、オープンスパイラル型の実践方法論で強靭に推進・達成する能力と方法論自体を創造する能力。〈博士論文〉学生が主体的に企画、実施し評価を受けたプロジェクト実践(約2年間)について、課題の発見・分析、計画、実施、評価、再利用可能な知見の抽出、今後の課題と展望を高い水準で記述したもの。特に波及効果と社会先導性に重点をおいた独自の基準を導入し開かれた学位審査を行う。

【特色】単なる複合専門教育や演習枠内の従来型 PBL を超えて、ICT 高度利活用を基軸とする社会イノベーションに向けたオープンかつ発展的な取組を本格展開し、その中で実践的に人材育成を行う。本プログラムは、特定の専門や課題に閉じた従来型方法ではなく、複数の専門と課題にまたがったオープンかつ統合的なシステムデザインの能力育成を最大の特徴とする。このため、上述の課題および専門分野の全てから、産官民学の別や国境を越えた 25 の外部連携機関のトップ人材 30 名以上と東京大学の 9 部局 17 専攻の教員 70 名以上、計 100 名以上からなる世界トップレベルの指導者集団を確保する。これにより、学生が自ら企画した社会ノベーションプロジェクトのために縦横無尽に専門や業種を超えて複数の指導者を選定することが可能となる。指導者集団は次の革新的な育成手法にも参加し強力に支援する:社会の第一線の人材と学生が対等に白熱討論するグローバルデザインワークショップで新たな課題と企画を次々と打ち出し、社会に発信して意見を募る。これを学生主体の個別プロジェクト計画(実施期間 2 年程度)に具体化し、外部連携機関と共同設置するプロジェクトインキュベーション機構により始動し支援していく。育成システムや講義演習について、産官民学協働を特徴とする評価・計画 WG 等で継続的に検証、改良し発展させる。積極的な対外発信と社会対話を通して、これらを世に問い、オープンな発展を期する。

〈質保証システムの特徴〉専門基礎・実践力強化、三段階選抜と共通必修科目群に加え、入学から修了まで**継続して密着型多元評価**を行い、リーダー、マネジャー、スペシャリスト等のロール(役割)適性評価の付与、**進路振分や奨励金への反映**に加え、**キャリアパスポート**として交付し、就職先に提出させる。**個別指導メンター**の報告を踏まえ、産官民学協働の**学生評価委員会**が社会の人材ニーズも反映しつつ評価する。また、追跡調査等に基づき評価法の継続的改善に力を入れる。

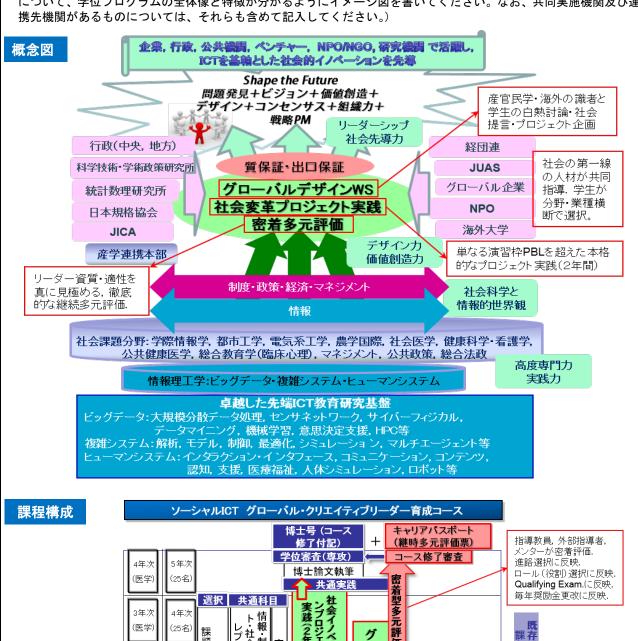
<キャリアパス支援>経団連等の外部連携機関と協働し、**質保証と連動した特別枠設定**も含むキャリアパスを設計し、上記ワークショップ等での交流も連動し学生の能力を活かす場を提供する。

【優位性】

- ・卓越した先端 ICT 研究教育基盤:ビッグデータ時代を先取りした情報爆発プロジェクト、大きな成功を収めた東大グリーン ICT、高度な複雑系科学による社会課題への取り組み、先進のヒューマンインタフェース技術やロボット技術の実績。
- ・東大のポテンシャルを発揮する学内連携:社会課題領域と社会デザインに関わる工学、医学、農学、 社会科学の分野のトップレベルの専攻教員との協働による強力な研究教育体制。
- ・産官民学・海外の強力な外部機関との密な協働:経団連、日本情報システム・ユーザー協会、公的研究機関、行政機関、NPO、グローバル企業、ベンチャー企業・起業家、海外大学等との密な協働により、キャリアパス設計、学生プロジェクト支援、ワークショップ、インターンシップ、メンター・講師派遣、プログラム改善等を効果的に推進する。経団連等5機関とは覚書を交わし、本提案の構想段階から協議を重ねており、共通理解と協力体制が確立している。
- ・産学連携、国際化教育の強力な実績:産学連携 R2P、北京特別入試、情報理工学国際センター等。



(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)



実践(2年間) レプレナーシップ・倫理・リト・社会システムデザイン・「「報・制度・政策・経済・マネ 評価 実践英語 **先**端 指 ·奨励金 **Qualifying Exam** 2年次 3年次 向 (進路振分) (医学 (30名) 企画コンペ 予算獲得 嵌 ザ Qualifying Exam(奨 イン・アントル・マネジメン 海外等イン 1年次 2年次 毎年 励金決定. 編入) ターンシップ (医学 (20名) 知 w (6ヶ月) 財 Screening Exam (コース入学者決定) S 入学前 1年次 (医学: 専門基礎力: (60名) 実践力強化 学生が主体的に, グロー 大学院入学試験・コース入学予備審査 バルデザインWSの結論 を具体化しプロジェクト企 画立案 コンペ・予算獲得 情報理工学, 学際情報学, 都市工学, 電気系工学, 農学国際, 社会医学, 健康科学・看護学, 公共健康医学,総合教育学(臨床心理),マネジメノト,公共政策、総合法政 (外部資金含む)を経て実 際の社会変革プロジェクト を実施.これが学位研究.